

令和5年度 卒業証書授与式 式辞

季節は確実に冬から春へと移りつつあります。新たな生命の息吹が感じられる今日のよき日に、島根県立出雲農林高等学校 第71回卒業証書授与式をかくも盛大に挙行できますことを、この上ない喜びと感じております。

本日ご多用の中、ご臨席を賜りました耕魂会会長 米山広志 様、PTA 会長 小玉ともみ 様をはじめ来賓の皆様方に卒業生の前途を祝福いただきますことを、高いところからではございますが、厚く御礼申し上げます。また、保護者の皆様、お子様の栄えある卒業を心よりお喜び申し上げます。

ただいま卒業証書を授与しました、124名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうでございます。皆さんは、3年前高い志をもち、夢と希望に胸を膨らませ本校に入学しました。以来3年間、「耕魂・育命」の校訓の下、勉学や部活動、学校行事などに全力で取り組み、日々自らを鍛え、そして成長し、本日晴れて卒業の日を迎えました。これは、もちろん皆さんの努力と研鑽の結果であると思います。しかし同時に温かい愛情を持って励まし支えてこられましたご家族や先生方、先輩・後輩、さらには地域の方々など、多くの人々のお陰であることを決して忘れてはいけません。この人生の節目に当たり、お世話になった方々へ素直に感謝の気持ちを伝えてもらいたいと思います。

さて皆さんは本日、めでたく卒業の日を迎え、「高校時代」というステージから次のステージへと歩みを進めていきます。大学や専門学校へ進学し、より専門的な勉強をする人、就職して社会人となり、経済的にも精神的にも自立する人、その道は様々ですが、未知の世界に対する不安と緊張感、そして自分で道を切り開いていくという高揚感とに包まれていることでしょうか。皆さんが飛び立とうとしている社会は、AIの急激な進化など技術革新が目覚ましく進展・普及し、超スマート社会と呼ばれる「Society 5.0」が到来します。それに伴い人の働き方や生き方を含めた社会の構造までが激しく加速度的に変化していきます。皆さんにとって、そうした今まで経験したことない状況に置かれたときに必要となる力が「適応力」です。進化論で有名なダーウィンの言葉に、「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残ることができるのは、変化できる者である。」とあります。激動する社会の中で生き残っていくために、変化に適応できる生き方を身につけなければなりません。「適応力」の具体的なスキルとして、「コミュニケーション能力」、「対人スキル」、「問題解決能力」、「発想力」、「思考力」、「チームワークスキル」、「情報整理力」などが挙げられますが、皆さんは、本校での3年間の学びの中で、これらのスキルを着実に培ってきました。どうか自信を持ってください。そして将来は社会人・職業人として、地域を担い、地域の役に立つ人材として、地域や社会から求められる人材としてさらに力をつけていってください。私たち教職員はいつまでも応援しています。

また、皆さんには、卒業してからも常に夢や目標を持ち続けていって欲しいと思います。出雲農林高校での3年間、皆さんはいろいろな目標に向かって、いろいろなことにチャレンジし続けてきました。人は夢や目標があるから諦めずに努力することができます。努力は最大の力だと私は思います。皆さんは、11月に創立90周年の記念講演をしていただいた植松努先生から思い続けたらそうなるという意味の「思うは招く」というすばらしい言葉を教えていただきました。人は誰しも順風満帆な時ばかりではありません。むしろうまくいかなかったり、悩んだりすることの方が多いかもかもしれません。そんなときこそ、「どうせ無理」ではなく「だったらこうしてみよう」とプラス思考で考えれば、解決できることも多いと思います。そして、その願いが叶っても、そこで満足するのではなく、さらなる夢や目標を持ち続け、ステップアップし続けるすてきな人生を送っていただきたいと心から願っています。

最後になりましたが、保護者の皆様には、この3年間、本校の教育活動に絶大なるご理解とご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げますとともに、深く敬意を表します。

本日、成長著しいお子様を保護者の皆様と一緒に送り出せますこと、皆様への感謝とともに誇りに思っております。卒業生の皆さん、洋々たる前途を健やかに、そして幸多からんことを心から祈念し、式辞といたします。

令和6年3月1日 島根県立出雲農林高等学校 校長 黒崎 千春